

平成 26 年 4 月 17 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 伊奈 聡

(コード番号：3390)

問合せ先 広報・IR部

電話番号 03-6892-3864

簡易株式交換によるアスカティースリー株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、アスカティースリー株式会社（以下「アスカティースリー」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、同日付で両社の間で株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本株式交換は、平成 26 年 5 月 23 日開催予定のアスカティースリーの定時株主総会において本株式交換の承認を受けたいえ、平成 26 年 7 月 1 日を効力発生日として行われる予定です。

記

1. 本株式交換による完全子会社化の目的

アスカティースリーは、2001 年の創業以来、ICT の技術を活用し、効率アップとサービスアップ（感動接客）が両立できることを明確にする役割を担い、サービス業界に新たな価値観を創造してまいりました。同社が有する、各テーブルにあるタッチパネル端末から、お客さまが自分で注文できるセルフオーダーシステム（タッチパネル式）は、全国の手飲食チェーンやカラオケ店など 1,600 店舗以上に提供しており、導入店舗数は業界トップクラスの実績を有しております。

一方、当社は、システム技術の開発を軸に、店舗運営を行う企業に対して集客や業務効率化を可能にするシステムの提供や、中小企業向けにオフィスソリューションの販売を行うなどの事業を展開しております。特に当社はシステム開発や運営において強みを持っており、主に飲食事業者向けにソリューションサービスの開発・販売を中心に、中小型店向けのスマートフォン・タブレット端末を活用したレジスターや POS システムの販売、店舗情報を複数のグルメサイトに一括掲載・更新ができる「店長なび」など、店舗運営をサポートするソリューション提案を行っております。

今回の株式交換による子会社化を通して、アスカティースリーが有するセルフオーダーシステムをはじめとする様々な技術を活かすことで、飲食事業者向けのソリューションサービスとのシナジー効果を発揮し、当社グループの将来の事業拡大にもつながるものと考えております。

当社グループは、本株式交換によって、さらなる収益力の強化および企業価値向上を目指してまいります。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

取締役会決議日（両社）	平成 26 年 4 月 17 日
契約締結日（両社）	平成 26 年 4 月 17 日
株式交換承認時株主総会 （アスカティースリー）	平成 26 年 5 月 23 日（予定）
株式交換の予定日（効力発生日）	平成 26 年 7 月 1 日（予定）

(注) 本株式交換は、当社については、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を受けずに行う予定です。

(2) 株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、アスカティースリーを株式交換完全子会社とする株式交換です。

(3) 株式交換に係る割当ての内容

会社名	ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社 (株式交換完全親会社)	アスカティースリー株式会社 (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当ての内容	1	34,483
株式交換により発行する新株式数	普通株式：2,608,707 株	

(注1) 株式の割当比率

アスカティースリー株式 1 株に対して、ユニバーサルソリューションシステムズ株式 34,483 株を割当交付いたします。

(注2) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の単元未満株式（1 単元（100 株）に満たない数の株式）を保有する株主が生じることが見込まれますが、当社の単元未満株式を所有することとなる株主の皆様におかれましては、会社法第 192 条第 1 項の定めに基づき、当社に対し自己の保有する単元未満株式の買取りを請求することができます。

(注3) 1 株に満たない端数の処理

本株式交換により交付する株式に 1 株に満たない端数がある場合、当社は会社法第 234 条の規定に基づく処理を行います。

(4) 株式交換完全子会社の株予約権及び株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 算定の基礎

当社とアスカティースリーは、以前より両社の飲食店向け事業の融合に関して議論を重ねておりましたが、今回、株式交換による方法が他の方法と比較して、完全子会社化が確実に実現できることや、資金負担の懸念が生じないことのメリットを総合的に勘案した結果、本株式交換を行うことを決定いたしました。

当社は、本株式交換における交換比率の算定については、その公正性および妥当性を確保するため、当社ならびにアスカティースリーから独立した第三者機関である長谷川公認会計士・税理士事務所に算定を依頼しました。

長谷川公認会計士・税理士事務所は、株式交換比率について、上場会社であり、市場株価が存在することから、当社の株式価値については市場株価法による評価を実施し、非上場会社であるアスカティースリーの株式価値については、市場の成長性等の要素を鑑みると、比較的实现可能性が高く、アスカティースリーの事業計画を基に株式の価額を算定することに合理性を求めると考えられるため FCF 法を、比較可能な同様のターゲットを顧客層とする上場企業が複数あり、これら比較企業の数値を用いて当該株式の評価額を算出することには妥当性があると考えられるため類似上場会社法を、現時点における資産価値を相対的に評価するため時価純資産法を加味する方式により株式価値の算定を行っております。なお、FCF 法による算定において、取扱商品の導入実績等の推移、増加率を元にアスカティースリーの平成 26 年 3 月期の売上高を 910 百万円、営業利益を 56 百万円と予測（注）して算出してしておりますが、算定根拠となる本株式交換実施後の 5 事業年度の事業計画

においては、大幅な増減益は見込んでおりません。また、当社の株式価値について、対象期間については、株式市場の状況等の諸事情を勘案し、平成26年4月16日を算定基準日とした、基準日の東京証券取引所JASDAQ市場における当社株式の終値ならびに算定基準日までの直近1ヶ月及び3ヶ月の終値の単純平均値を算定の基礎としております。

(注) アスカティースリーの決算期は2月末に変更になっておりますが、算定上は当社が試算した1年間(平成25年4月～平成26年3月)の予測値を使用しています。

当社株式の1株当たりの株式価値を1とした場合の算定結果は、以下の通りであります。

採用手段	株式交換比率の算定結果
FCF法	27.488 ～ 39.944
類似上場会社法	29.635 ～ 43.056
時価純資産法	24.929 ～ 40.154

(2) 算定の経緯

当社とアスカティースリーは、当社が長谷川公認会計士・税理士事務所から提出を受けた株式交換比率の算定結果ならびに、市場株価を含めた各社における両社の財務状況、業績動向、株価動向等を参考に、両社間で真摯に交渉・協議を行った結果、最終的に上記2.(3)記載の株式交換比率が妥当であるとの判断により、合意いたしました。

(3) 算定機関との関係

算定機関である長谷川公認会計士・税理士事務所は、当社ならびにアスカティースリーの関連当事者には該当せず、本株式交換に関して記載すべき重要な利害関係を有しておりません。

4. 株式交換当事会社の概要

(平成26年4月17日現在)

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 名称	ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社	アスカティースリー株式会社
(2) 所在地	東京都新宿区新宿五丁目17番11号	東京都千代田区神田小川町一丁目6番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 伊奈 聡	代表取締役社長 小林 俊雄
(4) 事業内容	飲食店向けソリューションサービス、携帯電話、スマートフォン、タブレット端末の販売等	外食産業向けセルフオーダーシステム(e-menuシステム)の企画・開発・販売・運営等
(5) 資本金	1,454百万円	85百万円
(6) 設立年月日	平成8年7月10日	平成13年3月22日
(7) 発行済株式数	45,983,200株	75,652株
(8) 決算期	3月末	2月末
(9) 従業員数	188名(連結)	33名
(10) 主要取引先	株式会社メンバーズモバイル、SGS株式会社 他	NECインフロンティア株式会社、東芝テック株式会社 他
(11) 主要取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行 他	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、商工中金
(12) 大株主および持株比率	株式会社光通信 39.86% 日本証券金融株式会社 3.94%	合同会社SISソリューション 25.51% 小林 俊雄 23.19%

	株式会社アイ・イーグループ 3.52% (平成 25 年 9 月末現在)	NVCC 6 号投資事業有限責任組合 10.57% (平成 26 年 3 月 4 日現在)				
(13) 当事会社間の関係等	資 本 関 係	該当事項はありません。				
	人 的 関 係	該当事項はありません。				
	取 引 関 係	該当事項はありません。				
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。				
(14) 最近 3 年間の経営成績および財政状態						
(百万円)	ユニバーサルソリューション システムズ株式会社(連結)(完全親会社)			アスカティースリー株式会社 (完全子会社)		
	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
純 資 産	1,189	236	△19	88	42	68
総 資 産	2,746	1,657	646	482	443	418
1 株当たり純資産(円)	2,873.33	499.73	△130.90	2,158.09	590.63	900.92
売 上 高	4,528	4,549	1,850	712	575	681
営 業 利 益	78	△517	△133	11	△50	15
経 常 利 益	68	△544	△138	8	△59	9
当 期 純 利 益	△70	△907	△417	7	△61	6
1 株当たり当期純利益 (円)	△200.84	△2,367.35	△1,056.26	190.50	△860.41	87.52
1 株当たり配当金(円)	—	—	—	—	—	—

(注) アスカティースリーの決算期は、2 月末に変更になっております。

5. 株式交換後の状況

本株式交換による商号、本店所在地、事業内容、資本金、決算期について変更はありません。また、アスカティースリーの代表取締役社長である小林氏は、平成 26 年 6 月 27 日開催予定の定時株主総会にて承認の上、当社の代表取締役会長に就任する予定です。

6. 会計処理の概要

本株式交換は、会計上の分類として、取得に該当いたします。本株式交換により発生するのれんの金額は、現時点では未定です。

7. 今後の見通し

本株式交換に伴う業績ならびに財政状態に与える影響につきまして、現時点では未定であり、今後業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

以 上

(参考) 当期業績予想(平成 25 年 11 月 7 日公表分)及び前期実績

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 26 年 3 月期)	3,000	200	195	180
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	1,850	△133	△138	△417